

大麻（アサ）は、その茎から丈夫な繊維がとれるので、昔から繊維をとる植物として栽培・利用されてきました。しかし、大麻（アサ）は、大麻取締法という大麻草「カンナビス・サティバ・エル」のことであり、現在、日本では無許可の栽培や所持等は法律で禁止されています。

大麻(アサ)の見分け方

【全体的特徴】



大麻（アサ）は、成長が早く、大きいものは草丈が3mにもなりますが、種子をつけた後は枯れてしまいます。

良く成長した茎は太く真直ぐに立ち、浅い縦すじが通っています。

【葉の特徴】



葉は、細長い柄の先に、3～9枚（通常は奇数）の小葉が集まって手のひらのような形になっています。

葉全体の大きさは10～20cmです。

【花の特徴】



雄花



雌花

花は夏に咲き、雄花と雌花が別々の株につきます。雌株は、葉のつけ根に穂状の雌花を多数つけます。雌花を摘むと、樹液でねばねばします。